

令和6年度 学校評価(保護者・教職員) 集計結果

榎原学園榎原中学校 校長 中村 祐子

寒さ厳しき折、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に御理解、御協力いただき誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に、「保護者の皆様の声を学校に(令和6年度学校評価)」をお願いしたところ、ご回答いただきありがとうございます。お子様の様子から感じることや、授業参観などの折に見聞きたことをもとに、本校の教育活動を評価し、真摯な回答をしていただきましたことに感謝申し上げます。

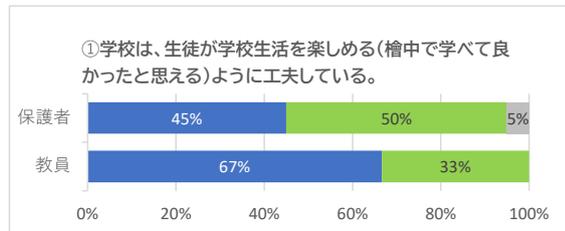
今年度は、紙又はformsによる回答とさせていただいたところ、紙が5件、formsが15件となりました。これを受けて、来年度からはformsによる回答のみにさせていただこうと考えております。

また、皆様全員からの回答をいただきたい思いが先走り、学年別未提出の数を連絡メールにてお知らせしたことで心的負担を与えてしまったことや再配布版を配布した際の説明不足により、期日までに回答していただいたにもかかわらず、再回答をしていただくご負担を与えてしまったことを心よりお詫び申し上げます。

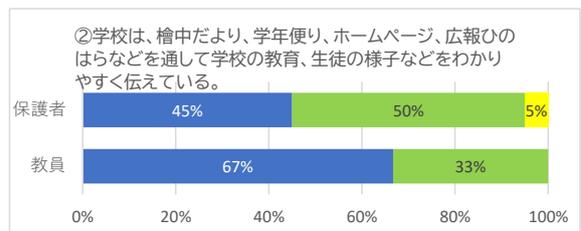
同時期に教職員にも学校評価を実施しました。集計の結果をまとめましたのでご覧ください。本校の教育活動の更なる充実・向上を図るために、この結果を有効に活用させていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

保護者回収状況： 20 / 23

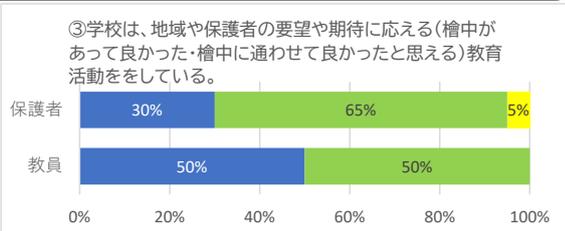
5 よくあてはまる 4 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 2 まったくあてはまらない 1 わからない・無回答



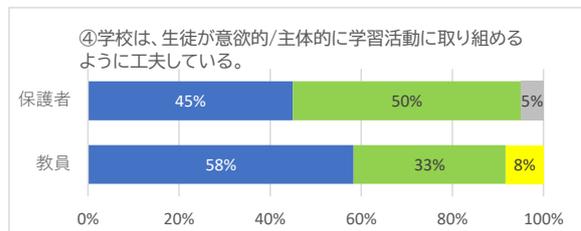
肯定的評価(5, 4を選択された方)については、全体では昨年度と同程度でした。2年生では、昨年度1年次比で+20%でした。学校での様子を積極的に話さなくなったり、返事が的を得なかつたりする傾向が思春期にはあります。気になることがありましたら、遠慮なく学校へ連絡してください。



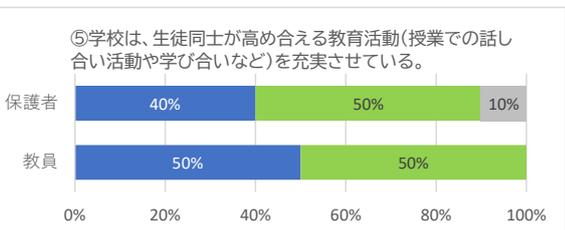
「榎中だより」は月に一度、「学年だより」は週に一度のペースで発行しています。学校ホームページでは、学校生活の様子を保護者限定公開としています。保護者の皆様との架け橋になるよう伝わりやすい内容を工夫していきます。ぜひ、ご覽いただき、教育活動への御理解をお願いいたします。



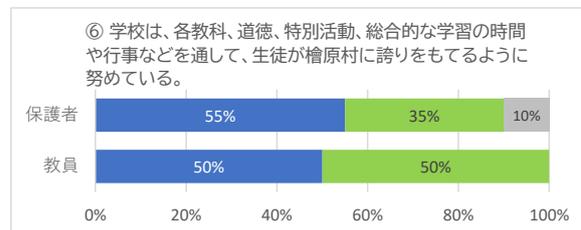
肯定的評価については、全体では昨年度と同程度でした。4を選択された方が昨年度比+32%となりました。今後、より一層地域や保護者の皆様から愛される学校であることに努力してまいります。疑問や気になることなどありましたら、遠慮なく校長へ連絡してください。



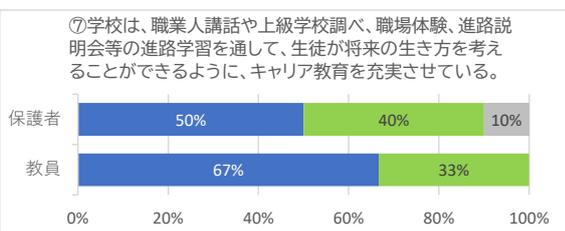
肯定的評価については、昨年度と同程度でした。5を選択した教員については、昨年度比+12%でした。教員が生徒を手厚くサポートできることは、少人数の利点ではありますが、過度にならず、生徒の主体性を生かす、伴走者としての役割ができるよう、授業力の向上に向けて研鑽していきます。



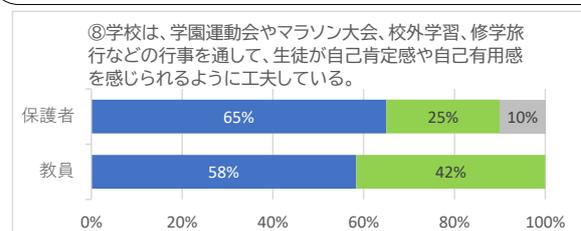
肯定的評価については、全体では昨年度と同程度でした。3年生では、昨年度2年次比で+25%でした。1を選択された方については、昨年度比で+5%となりました。授業中での話し合い活動や学び合いの時間を多くとり、生徒も意欲的に取り組んでいます。今後もこの教育環境を推進してまいります。



肯定的評価については、全体では昨年度比+7%となり、90%となりました。3年生では、昨年度2年次比で+8%、2年生では、昨年度1年次比で+11%でした。榎原学園では「ふるさと榎原学習」を推進しています。「総合的な学習の時間」を軸とし「榎原村の今と未来に貢献できる人」の育成を目指しています。成果は、学習発表会(令和7年3月8日(土)実施予定)にてご覧ください。

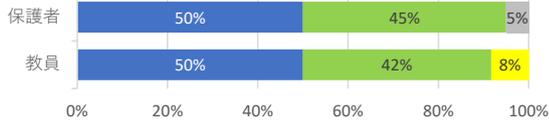


肯定的評価については、全体では昨年度比-6%となりました。2年生では、昨年度1年次比で+10%でした。2年生にも進路説明会などに参加させたり、進路便りを全校配布するなど、1年次から進路に対する心構えができるよう工夫しています。今後、更なるキャリア教育の充実を図っていきます。



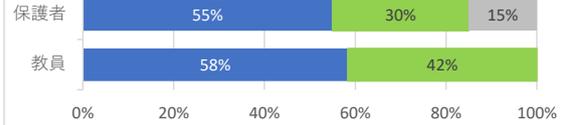
肯定的評価については、全体では昨年度比-10%となりました。2年生では、5を選択された方が昨年度1年次比で+20%でした。生徒たちは、各行事に向けて意欲的に取り組んでいます。また、学園マラソン大会では、保護者の皆様には、沿道の警備や温かい声援など御協力をいただき感謝申し上げます。

⑨学校は、生徒会活動、国際交流会(「留学生が先生」)、海外派遣事業との連携、地域との連携等を通して、生徒の視野を広げたり、社会性の育成に努めている。



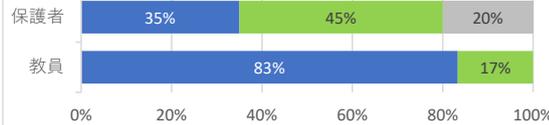
肯定的評価については、全体では昨年度比-10%となりました。2年生では、5を選択された方が昨年度1年次比で+20%でした。2年生は村の事業ではありますが、コロナ前の形式での海外派遣事業に参加することができました。今後も、檜中だからこそできることを工夫して取り組んでいきます。

⑩学校は、人権教育、食育、健康・歯科指導、環境衛生指導等を通して、生徒の心身の健康の保持増進のための学習を充実させている。



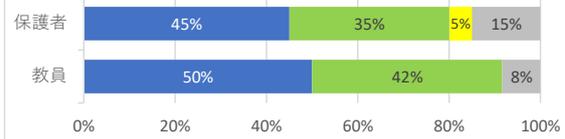
2年生では、5を選択された方が昨年度1年次比で+20%でした。食育は学年別に月一度栄養士から指導を受けており、「食育便り」でお知らせしています。歯科については今年度は歯科講演会を11月に、歯科指導を12月に訪問歯科衛生士から口腔チェックとブラッシング指導を学年別で受けました。

⑪学校は、いじめ対策、面談・相談体制の充実やアンケート等を実施し、生徒が安心して意欲的な学校生活が送れるように一人一人について理解し、きめ細かく指導している。



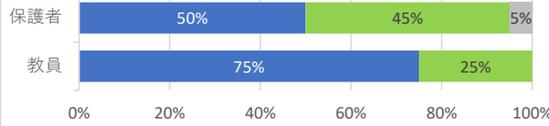
肯定的評価については、全体では昨年度比+2%となり、80%となりました。檜原村立学校いじめ防止基本方針に則り、檜原中学校いじめ防止基本方針を作成していじめの未然防止、早期発見に努めています。いじめ対策委員会を毎週開催して確認と情報共有をしています。また、いじめアンケートは年3回実施しています。今後もご家庭と協力していきたいと考えております。遠慮なく学校へご相談ください。

⑫学校は、部活動や放課後活動を通して、スポーツや文化活動に親しみ、成功体験を味わうことや心身の安定を図ることで、生徒の健全育成に努めている。



肯定的評価については、全体では昨年度比-10%となり、80%となりました。「部活動の選択肢が少ない。運動部でも個人種目の球技もあるので生徒に意見を聞いてほしい。」のご意見をいただきました。本校の部活動は2つしかありませんが、入部した生徒たちは、意欲的に参加し、自己実現をしていると感じています。また、今年度の放課後活動は、12月未までに41回開催し、うち、木曜日は17日開催しました。木曜日の参加人数は、1回につき10~15名が参加しました。

⑬学校は、健康・安全に関する学習(セーフティ教室・がん教育講演会・安全指導・自転車点検、避難訓練・不審者対応訓練・食育など)を通して、生徒の安全確保に努めている。



肯定的評価については、全体では昨年度比+8%となり、95%となりました。また、3年生では、昨年度比+25%、2年生では、昨年度比+10%でした。毎月実施する避難訓練では、火災、地震、土砂災害を想定しております。また、予告なしで行う回も設けています。加えて、不審者対応訓練も数回行っております。生徒たちは、どの訓練においても、真剣取り組んでいます。今後も、安心・安全に万全を尽くしながら開かれた学校を目指してまいります。

学校をよりよくするために期待されること

(保護者の皆様からいただいたご意見)

- 高校に行く環境がガラッと変わるのでそれに対応できるよう、過保護になりすぎない教育も大事かと思えます。
- いつもありがとうございます。
- 行事、外部講師の講演など本当に多くの活動をして頂いていると思います。またその活動に保護者が出席出来るよう配慮して頂き感謝しています。親と子で会話を共有できるとも良い機会になっています。今後も是非続けて頂きたいと思えます。
- いつも、先生方の暖かい見守りありがとうございます。檜原に住んでいますが、まだまだ知らない事がいっぱいあると思います。お年寄り、色々な知識をお持ちなので交流をしてみてもどうですか？檜原村の歴史など聞くと、面白い回答をいっぱいして頂けると思いますよ。これからも、宜しくお願い致します。
- 先生方の細やかで生徒1人ひとりに寄り添う姿勢にいつも感動しております。可能性や特技を引き出し、伸ばしていけるように指導して下さりありがとうございます。子供が学校生活を楽しく送っているのは先生方の愛と熱心なご指導のおかげです。これからも宜しくお願いいたします。
- いつもお世話になり、ありがとうございます。学校に楽しく通わせていただき、感謝しています。海外派遣事業の発表会に参加した際に校長先生のお話を伺って疑問に思ったことが何点かあります。まず、現地に到着した際に出口が分からず迷ったとのことでしたが、事前に調べていなかったのでしょうか？保護者として不安に感じました。そして、通訳などのガイドさんが欲しいとおっしゃっていましたが、英語の堪能な先生もしくは村から募集して英語が話せる方が同行されればいいのではないのでしょうか？担任の先生ともう一人英語の堪能な方が同行した方がいいのではないかなと思いました。あくまでも村の事業なので、学校の先生が数人同行される必要性は感じないです。ご検討いただけたらと思います。それと、今回のアンケートの再提出ですが、次回このようなことが起こらぬよう、アンケート協力要請の用紙に、「全員が提出しないと、提出済みの保護者にも再提出して頂くことになります」としっかり注意書きを足していただきたいです。かなり長文で提出していたので、再提出と聞いてガッカリしました。よろしく願い致します。
- この度のアンケートの提出について、何年生の保護者が何人回答をしていないと知らされたが、そもそも任意のアンケートであるはずで、学年と人数を公開する必要はあったのか疑問です。人数の少ない学校では、名指しているのと変わらないプレッシャーを与えられたと感じました。